

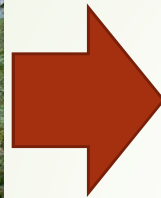
第4回 関東地方流域治水連絡会議資料

林野庁 関東森林管理局

<流域治水に関連する取組について>

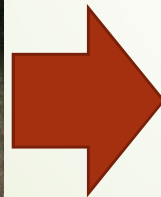
関東森林管理局の森林整備について

除伐



除伐は、植栽木の成長を妨げる樹木や、植栽木の中で成長の見込みのないものを除去する作業

間伐



間伐は、林分がうっ閉（樹冠に隙間がなくなった状態）し、立木間の競争が生じ始めた森林において、主に目的樹種の一部を伐採する作業

森林整備（保育）面積

令和4年度見込み	約5,031ha
令和5年度予定	約4,544ha

林内に光を入れることにより、下層植生を繁茂させ、保水機能等を高めることにつながります。

関東森林管理局の治山事業

山腹工は、のり切工や土留工、のり砕工などで山崩れがこれ以上大きくならないようにする工事。

早く植物が生えるように柵工や伏工、実播工や植栽工を行います。

溪間工は、台風や大雨の際、土砂が一度に流れ出ないようにダムを作成します。

また、鋼製スリットを設置し流木の流出を防ぐ工事も含まれます。

治山事業

令和4年度見込み：117件
(90.0億円)

令和5年度予定：104件
(災害等を含む) (90.2億円)

山腹工



溪間工



< 令和5年度予算資料 >

令和5年度 林野関係予算の概要

令和4年12月

区 分	4年度 予算額	5年度 概算決定額	4年度 補正追加額	A+B
	億円	A 億円	B 億円	億円
公共事業費 (対前年度比)	1,971	1,979 100.4%	935	2,914 147.9%
一般公共事業費 (対前年度比)	1,867	1,875 100.4%	695	2,570 137.6%
治山事業費 (対前年度比)	620	623 100.4%	256	879 141.7%
森林整備事業費 (対前年度比)	1,247	1,252 100.4%	439	1,691 135.6%
災害復旧等事業費 (対前年度比)	103	104 100.6%	240	344 332.3%
非公共事業費 (対前年度比)	1,005	1,077 107.2%	227	1,304 129.8%
合 計 (対前年度比)	2,976	3,057 102.7%	1,162	4,218 141.7%

(注)1 林野公共関係予算の総合計は2,634億円(令和5年度当初予算概算決定額として林野公共事業1,875億円、令和4年度補正予算額として林野公共事業695億円のほか、路網の整備・機能強化対策(非公共)64億円(R5当初・R4補正)を措置。)

2 上記のほか、農山漁村地域整備交付金及び農山漁村振興交付金に、林野関係事業を措置している。

3 金額は、関係ベース。ただし、デジタル庁計上の政府情報システム予算を除く。

4 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

森林整備事業 <公共>

【令和5年度予算概算決定額 125,249 (124,718) 百万円】
 (令和4年度補正予算額 43,900百万円)

<対策のポイント>

カーボンニュートラルを見据えたグリーン成長を実現するため、森林吸収量の確保・強化や国土強靱化、林業の持続的発展等を図るべく、**間伐の着実な実施に加え、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等を推進**します。

<事業目標>

森林吸収量の確保に向けた間伐の実施（45万ha [令和3年度から令和12年度までの10年間の年平均]）

<事業の内容>

1. 間伐や再造林、路網整備等

森林環境保全直接支援事業	23,813 (23,774) 百万円
森林資源循環利用林道整備事業	2,999 (2,633) 百万円
林業専用道整備事業	541 (523) 百万円
山村強靱化林道整備事業	2,295 (2,299) 百万円

- ① 間伐や再造林等の省力化・低コスト化を進めつつ、適切な森林整備を推進し、健全な森林を育成します。
- ② 林業適地等における、路網の開設・改良・機能回復を支援します。
- ③ 防災上重要な幹線林道の開設・改良を支援し、林道の強靱化を推進します。
- ④ 個別施設計画に基づく緊急性の高い林道施設の老朽化対策を支援します。

2. 豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林の整備

特定森林再生事業	2,061 (2,057) 百万円
水源林造成事業	25,273 (25,261) 百万円

- ① 豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林等について、**公的主体による復旧・整備**を推進します。
- ② **重要インフラ施設周辺の森林整備**を支援することで災害の未然防止につなげます。

<事業イメージ>

着実な再造林等に向けた対応

低コスト造林による
再造林面積の確保



林業適地における路網整備の推進により
森林施業の効率化を図り再造林等を後押し



- 林業に適した区域内において
- 林道改良の支援を強化
 - 林道の機能回復を新設

林業適地における
資源の適正な管理

多面的機能の
持続的発揮



森林整備事業のICT活用に向けた対応



航空レーザ測量データを基にした路網線形計画策定や、
3次元測量・設計導入による詳細設計作成

国土強靱化等に向けた対応

● 林道施設の老朽化・長寿命化対策

個別施設計画に基づく緊急性の高い
林道施設の老朽化対策を支援



橋梁の老朽化



長寿命化

● 森林作業道の改良・早期復旧対策

森林作業道の早期復旧や被災を予防する
ため、継続的に使用される森林作業道
の単体での改良・復旧を支援

※ R4補正予算から措置



法面の崩壊



復旧・開通

<事業の流れ>

1/2、3/10等

都道府県、市町村、森林所有者等 (1、2の事業)

国立研究開発法人森林研究・整備機構 (2の事業の一部)

※ 国有林においては、直轄で実施

【お問い合わせ先】 林野庁整備課 (03-6744-2303)

森林整備による防災・減災対策 <公共>

【令和4年度補正予算額 16,400百万円】

<対策のポイント>

森林の防災・保水機能の発揮のため、**山地災害危険地区周辺や氾濫した河川の上流域等における間伐等の森林整備**のほか、防災機能の強化に向けた**林道の開設・改良や森林作業道の復旧**等を推進します。

<事業目標>

森林吸収量2.7%（平成25年度総排出量比）の確保に向けた間伐の実施（令和3年度から令和12年度までの10年間の年平均：45万ha）

<事業の内容>

<事業イメージ>

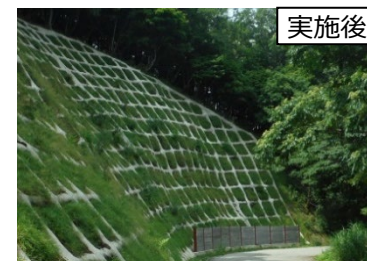
1. 防災・保水機能を高めるための森林整備

森林の防災・保水機能を発揮させるため、流域治水の取組等とも連携しつつ、**山地災害危険地区や氾濫した河川上流域、重要なインフラ周辺等を対象に間伐等の森林整備**を推進します。

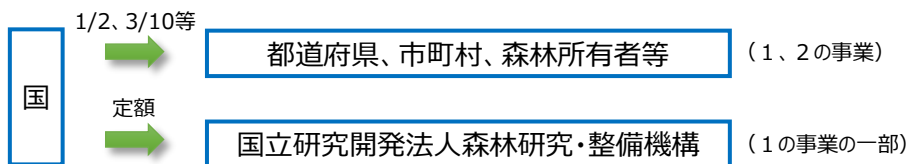


2. 防災機能の強化に向けた路網整備

被災リスクの低減を図るため、**強靱で災害に強い林道の開設・改良**等を推進するとともに、被災箇所の放置による被害の拡大や道奥の森林整備の停滞等を防ぐため、**森林作業道の改良・復旧**を単独で支援します。



<事業の流れ>



※ 国有林においては、直轄で実施



<対策のポイント>

気候変動に伴い激化する降水形態や活発化する地震及び火山活動に対応するため、被災状況に応じた機動的な事業実施等による復旧の加速化・効率化や危険度の高まった地域における事前防災力の向上を図るとともに、新技術の導入による施工の省力化等により事業体等の負担軽減を推進します。

<事業目標>

周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の増加（約56.2千集落〔平成30年度〕→約58.6千集落〔令和5年度〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 激化する降水形態への対応強化

- 山地災害が広域化・複雑化し、機動的な事業実施が求められる中、緊急的な予防・復旧対策について、年度毎の計画額に縛られず事業期間全体の計画額で採択をする事業メニューを追加します。
- 復旧の加速化・効率化を図るため、災害関連緊急治山事業等の後続事業の前倒し着手を可能にします。
- 激甚災害に見舞われた地域における既存施設の機能強化対策を強化します。
- 保安林整備事業において、人家や重要インフラ近接地における危険木による被災リスクの軽減を図るための事前伐採等を支援対象にします。

2. 地震及び火山活動の活発化に対する事前防災力の向上

(農山漁村地域整備交付金)

震度5弱以上の地震が発生又は火山噴火警戒レベルが2以上となった地域について、緊急的な減災対策として、①林地荒廃防止事業の対象エリアにするるとともに、②不安定土砂の除去等に併せて応急対策資材の配備・備蓄等が可能な事業を創設し、事前防災力の向上を図ります。

3. 災害の激甚化を踏まえた事業体・自治体の負担軽減

- 施工の省力化等に資するICT活用工事等について、治山工事に加え地すべり防止工事における導入を推進するとともに、歩掛等の適正化を図ります。
- 円滑かつ効率的な事業実施のため、所有者不明地の権利把握のための調査が補助対象であることを明確化し推進します。

○激化する降水形態への対応強化



広域化・複雑化する山地災害



既存治山施設の
嵩上げ等

激甚な災害地域における、
機能強化対策の強化



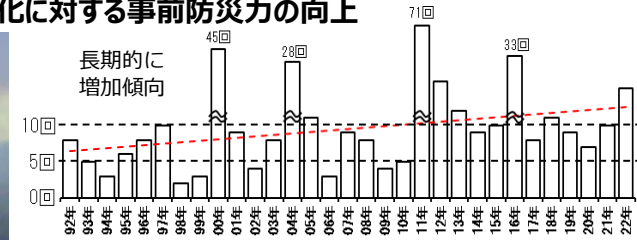
人家近接地における
危険木被害

○地震及び火山活動の活発化に対する事前防災力の向上



(気象庁HP)

令和4年7月桜島の噴火



震度5弱以上の発生回数（2022年は11月時点の発生回数）

○災害の激甚化を踏まえた事業体・自治体の負担軽減



マシンガイダンス
による掘削
(基地局で衛星から
の情報を受信し、機械へ転送)



レーザスキャナを
用いた3次元起工測量

ICT等新技術の導入による施工の効率化や精度向上

【お問い合わせ先】 林野庁治山課 (03-6744-2308)

<事業の流れ>



※ 国有林や民有林のうち大規模な山腹崩壊地等においては、直轄で実施

治山施設の設置等による防災・減災対策 <公共>

【令和4年度補正予算額 25,600百万円】

<対策のポイント>

森林の防災・保水機能の発揮のため、令和4年8月の大雨等により荒廃した山地・溪流の復旧整備を推進するとともに、山地災害危険地区や氾濫した河川の上流域等において、治山施設の整備等による防災・減災対策を推進します。

<事業目標>

周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の増加（約56.2千集落〔平成30年度〕→約58.6千集落〔令和5年度まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 荒廃山地・溪流の緊急的な復旧整備

令和4年8月の大雨等により荒廃した山地・溪流について、下流への被害を防止するための緊急的な復旧整備を推進します。

2. 激甚化する災害を踏まえた防災・減災対策

山地災害危険地区や重要なインフラ周辺等のうち特に緊要度の高いエリア、氾濫した河川上流域等を対象に、森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能等の適切な発揮のため、流域治水の取組等とも連携しつつ、流木、土石流、山腹崩壊の発生を抑制する治山施設の整備等を推進します。



山地災害危険地区のうち、特に緊要度の高いエリアにおける治山施設の整備



流木捕捉式治山ダムを設置



土砂の流出・侵食を防止し、森林の保水機能を向上



土砂流出を防止する治山ダム群の整備



筋工・柵工と組み合わせた保安林整備

<事業の流れ>



※ 国有林、民有林のうち大規模な山腹崩壊地等においては、直轄で実施

【お問い合わせ先】 林野庁治山課 (03-6744-2308) 10